

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
13時06分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001020200	広報課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00022	市報すいた発行事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10047	01	02	01	03	02	01	01	市報すいた発行事業（広報費）
所属長	東田 康司			担当者（内線）太田 美紀（2038）					
根拠法令等	市報すいた発行規則								
事業開始年度	昭和25年度	直近の改正	平成24年						
改正内容	発行回数を月2回から月1回に変更。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民及び市内外の公共交通機関16駅利用者		
目標	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。		
結果	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。		
事業概要	市の事業や行事の紹介など、市民への周知事項をまとめた広報紙（A4冊子）を発行。市内全戸と市内外16駅に配布。視覚障がい者向けに音声版（テープ、CD）と点字版を発行。市ホームページにHTML版とPDF版を掲載。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	高速オフセット（H29年11月迄）廣済堂
		委託先②	ヤマツーナッジ、シルバー人材センター等
		委託先③	市内ボランティアグループ2団体、府視協等
	主な委託内容		①校正・印刷②配布③点字版と音声版作成
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	86,222	78,391	83,343	76,507	83,384
人件費職員数(人)	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	26,144	25,280	25,767	25,767	25,424
総事業費(A+B)	112,366	103,671	109,110	102,274	108,808
特定財源(C)	7,411	8,545	7,643	9,198	8,252
国	1,452	1,053	1,387	1,092	1,461
府	684	468	637	460	674
その他	5,275	7,024	5,619	7,646	6,117
市負担(D)	104,955	95,126	101,467	93,076	100,556
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	104,955	95,126	101,467	93,076	100,556
財源計(C+D)	112,366	103,671	109,110	102,274	108,808

所属	広報課
事務事業番号	00022

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市報すいたの年間発行部数。	千部	目標値	2,079.80	2,110.85	2,148.32
			実績値	2,110.85	2,130.40	
			達成度(%)	101.50	100.90	
目標値の積算方法	前年度の実績をもとに、世帯数の増減等を加味して設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	49.11	48.01	
			一般財源(千円)	45.07	43.69	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市報すいたの各号の総ページ数。	ページ	目標値	657.00	634.00	621.00
			実績値	634.00	621.00	
			達成度(%)	96.50	97.90	
目標値の積算方法	前年度の実績をもとに、掲載依頼件数の増減や特集などの実施を加味して設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	163.52	164.69	
			一般財源(千円)	150.04	149.88	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で市からの情報発信に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	%	目標値	78.80	78.80	78.80
			実績値	25.90	25.90	
			達成度(%)	32.90	32.90	
目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,002.74	3,948.80	
			一般財源(千円)	3,672.82	3,593.67	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で、市報すいたを「市政に関する主な情報源」と答えた市民の割合。	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	81.50	81.50	
			達成度(%)	81.50	81.50	
目標値の積算方法	同調査で、回答者全員が主な情報源と回答。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,272.04	1,254.90	
			一般財源(千円)	1,167.19	1,142.04	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>平成26年度市民意識調査で、「吹田市政に関する主な情報源」に、市報すいたをあげた市民の割合は81.5%で、次点の自治会の回覧版の21.5%や吹田市ホームページの18.0%を大きく引き離す結果となった。市政への市民参加や市民との協働を進める上で、市報すいたが果たす役割は大きく、今後も市民と行政とのパイプ役としてわかりやすい情報の提供に努めていく必要がある。文字の拡大やインターネットツールとの連携(平成27年1月から)、カラー化(平成30年1月号から)を実施しており、毎月市民から寄せられるハガキでは高評価を得ている。</p> <p>一方で、同調査において、「市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど市が発信する情報」に満足している市民の割合が25.9%と低調なことから、内容の充実を図ることが必要がある。</p> <p>今後も、更なる紙面の充実を図り、情報発信媒体の主として継続していくべき事業である。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	市報すいた発行事業	事業区分	その他
事務事業番号	00022				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	広報課	事務事業番号	00022
-----	-----	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度市民意識調査の結果では、「吹田市政に関する主な情報源」として市報すいたをあげる人の割合が80%を超えていることから、市政への市民参加や市民との協働を進めるツールとして、市報すいたの発行は必要不可欠と考えます。</p> <p>また、人口に占める高齢者の割合が23.6%を超える超高齢社会を迎え、文字・デザインなど高齢者に配慮した紙面づくりに取り組む必要があります。一方で、30歳未満の人には、市報すいたの活用が低い状況にあるため、若年者や子育て世代にもより読んでもらえるような紙面づくり、情報提供が必要であると考えています。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
13時05分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001020200	広報課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00023	広報番組制作放送事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10048	01	02	01	03	03	01	01	広報番組制作放送事業（広報費）
所属長	東田 康司				担当者（内線）平井 圭介（2040）				
根拠法令等									
事業開始年度	平成3年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	制作本数を年52本から36本に、放送回数を1日5回から2回に変更。インターネット動画配信（番組全編）の開始。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	市民及び本市に関心を持つ者			
目標	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。			
結果	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。			
事業概要	市政情報の提供や市民活動などを紹介する広報番組「お元気ですか！市民のみなさん」を作成し、ケーブルテレビで放送する。構成は、吹田のトピックス、特集、企画コーナー、お知らせなど。30分番組を月3本制作し、毎日15時と22時に放送。 インターネットの動画配信サイトYouTubeを活用し、市ホームページでも配信。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社ジェイコムウエスト	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	広報番組の制作・放送	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	28,301	28,281	28,301	28,181	23,736
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	40,556	40,131	40,379	40,259	35,654
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	40,556	40,131	40,379	40,259	35,654
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	40,556	40,131	40,379	40,259	35,654
財源計(C+D)	40,556	40,131	40,379	40,259	35,654

所属	広報課
事務事業番号	00023

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	番組制作数	回	目標値	36.00	36.00	29.00
			実績値	36.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	予算数値から	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,114.75	1,118.31	
			一般財源(千円)	1,114.75	1,118.31	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で市からの情報発信に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	%	目標値	78.80	78.80	78.80
			実績値	25.90	25.90	
			達成度(%)	32.90	32.90	
目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,549.46	1,554.40	
			一般財源(千円)	1,549.46	1,554.40	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で、広報番組を「見たことがある」と回答した市民の割合。	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	27.40	27.40	
			達成度(%)	27.40	27.40	
目標値の積算方法	同調査において、回答者全員が「見たことがある」と回答した数値を設定。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,464.64	1,469.31	
			一般財源(千円)	1,464.64	1,469.31	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	市民から地域の取組や催しの取材依頼は多く、情報発信媒体としての広報番組のニーズは高い。 一方、視聴者から見ると、番組がどの媒体で放送されているのかや、インターネット動画配信を実施していることに対する認知度が低いこと、前回の番組改編からすでに5年が経過しマンネリ化してきていることなどが課題となっている。 平成30年9月からは番組内容をリニューアルし、より魅力的な番組づくりに取り組むとともに、新MCによるSNSでの情報発信などで番組の認知度の向上に努め、視聴者の拡大に取り組んでいく。

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	広報番組制作放送事業	事業区分	その他
事務事業番号	00023				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	広報課	事務事業番号	00023
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	☐ 主要な政策課題としての取組	☐ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成25年度に事業費の適正化から制作本数、放送回数を見直し、合わせて番組構成の変更を行ったが今や5年が経過し、番組がマンネリ化している状況である。</p> <p>平成30年9月からMCやコーナーの変更など番組のリニューアルを行うとともに、更なる事業費の適正化に向けて、放送回数と制作本数の見直しを行い、より魅力的で効率的な番組制作に取り組む。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
13時08分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001020200	広報課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00024	ホームページ事業							
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり							
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり							
細節	40	情報公開・情報提供の推進							
予算事業	10049	01	02	01	03	04	01	01	ホームページ事業（広報費）
所属長	東田 康司				担当者（内線）山根 渉（2039）				
根拠法令等	ネットワーク利用ルール運用基準、吹田市ウェブアクセシビリティ方針								
事業開始年度	平成11年度		直近の改正		平成29年度				
改正内容	ウェブアクセシビリティ方針及びガイドラインの策定								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び本市に関心を持つ者		
目標	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。		
結果	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。		
事業概要	市の事業や行事の紹介など市民への周知事項をまとめた吹田市ホームページの管理及び運用。市政に関心のある人向けに吹田市役所 Facebook、吹田市部長ブログを活用した情報発信。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	シーレイシステム株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	ホームページ管理システム保守
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,916	3,724	3,755	3,754	3,913
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.50	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	12,078	15,890
総事業費(A+B)	13,086	11,624	11,807	15,832	19,803
特定財源(C)	1,749	1,827	1,461	1,255	1,004
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,749	1,827	1,461	1,255	1,004
市負担(D)	11,337	9,797	10,346	14,577	18,799
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,337	9,797	10,346	14,577	18,799
財源計(C+D)	13,086	11,624	11,807	15,832	19,803

所属	広報課
事務事業番号	00024

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ホームページの年間ページ閲覧数。	万件	目標値	1,885.00	1,632.00	1,716.00
			実績値	1,484.00	1,560.00	
			達成度(%)	78.70	95.60	
目標値の積算方法	前年度実績の110%。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.83	10.15	
			一般財源(千円)	6.60	9.34	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	ホームページの年間閲覧者数。	千人	目標値	2,028.00	1,694.00	1,912.00
			実績値	1,540.00	1,738.00	
			達成度(%)	75.90	102.60	
目標値の積算方法	前年度実績の110%。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.55	9.11	
			一般財源(千円)	6.36	8.39	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で市からの情報発信に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	%	目標値	78.80	78.80	78.80
			実績値	25.90	25.90	
			達成度(%)	32.90	32.90	
目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	448.80	611.27	
			一般財源(千円)	378.26	562.82	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で、ホームページの「レイアウトのわかりやすさ」に「非常に満足」「満足」と答えた市民の割合。	%	目標値	88.70	88.70	88.70
			実績値	27.70	27.70	
			達成度(%)	31.20	31.20	
目標値の積算方法	同調査で、「非常に満足」「満足」と答えた市民の割合に、「どちらとも言えない」と答えた人を加えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	419.64	571.55	
			一般財源(千円)	353.68	526.25	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>平成26年度市民意識調査で、「吹田市に関する主な情報源」に、ホームページをあげた市民の割合は18%と、平成22年度調査の13.2%から4.8%増加しています。スマートフォンの増加等により今後も需要が増加すると見込まれるため、多様な媒体で利用が可能なホームページづくりが必要です。</p> <p>一方、同調査において「レイアウトのわかりやすさ」の満足度が27.7%、「欲しい情報の探しやすさ」の満足度が24.9%と、共に低調なことから更なる内容面の充実を図る必要があります。</p> <p>平成29年度には、内容面の充実を図るために、職員向けホームページ作成研修を実施し分かりやすい表現やデザイン手法、システム操作方法などについて周知するとともに、ホームページ作成マニュアルを改訂したほか、初心者向けマニュアルを新たに作成しました。</p> <p>また、ホームページサーバーの負荷が増大し閲覧に支障が出ていたことから、平成30年2月に処理速度の速いサーバーへの移行を行いました。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	ホームページ事業	事業区分	その他
事務事業番号	00024				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組むなど、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	広報課	事務事業番号	00024
-----	-----	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>インターネットの普及は増加の一途にあり、平成28年度総務省調査によればインターネット利用率は83.5%とされており、スマートフォンの普及に伴いインターネットの利用時間も増加しています。このことからインターネット環境における情報発信の重要性はますます高まっています。</p> <p>また、市報すいたは紙媒体であるため情報量に制約があることや、市報の利用率の少ない若年層に対してもインターネットを用いての情報発信は有効なアプローチとなるため、市民へ市政情報を伝える上で、有効なツールであると考えます。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
13時09分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0001020200	広報課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00025	くらしの友発行事業			
章	02	市民自治が育む自立のまちづくり			
節	02	情報の共有化を進めるまちづくり			
細節	40	情報公開・情報提供の推進			
予算事業	11360	01	02	01 03 99 99	くらしの友発行事業（広報費）
所属長	東田 康司		担当者（内線）樋口 雅俊（2036）		
根拠法令等	なし				
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成22年度		
改正内容	発行形態を官民協働発行に変更し、刷新（経費は音声版・点字版のみ）。				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民及び吹田市転入者。		
目標	適切な情報発信による市民満足度の向上、及び市政や市民活動への関心を高める。		
結果	行政サービスの周知と共に、市政や地域の取組への関心が高まり、市政・行事等への市民の参加・参画が図られる。		
事業概要	市役所の窓口や各種手続き等の行政情報と地域の生活情報を掲載した市民向け情報誌「くらしの友」を発行し、市内全世帯及び転入者に配布を行う。また、視覚障がい者向けに音声版（テープ、CD）と点字版を発行。発行は2年に1度（平成29年度は不実施）。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)サイネックス
		委託先②	吹田声のグループ缸、点訳グループあい
		委託先③	大阪府視覚障害者福祉協会、リポート
	主な委託内容		冊子の校正・印刷作成、配布及び点訳・音訳
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	253	252	0	0	674
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.00	0.00	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	0	0	4,767
総事業費(A+B)	5,155	4,992	0	0	5,441
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,155	4,992	0	0	5,441
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,155	4,992	0	0	5,441
財源計(C+D)	5,155	4,992	0	0	5,441

所属	広報課
事務事業番号	00025

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	作成部数	部	目標値	206,000.00	0.00	207,000.00
			実績値	206,000.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	本市世帯数に次刊発行までの転入世帯数見込を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.02	0.00	
			一般財源(千円)	0.02	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平成26年度市民意識調査で市からの情報発信に「満足している」「どちらかといえば満足」(以下「満足」と答えた市民の割合。	%	目標値	78.80	78.80	78.80
			実績値	25.90	0.00	
			達成度(%)	32.90	0.00	
目標値の積算方法	同調査で、「満足」と答えた市民の割合に、「普通」と答えた市民の割合を加算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	192.74	0.00	
			一般財源(千円)	192.74	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>市の制度や手続き方法、施設の概要などの行政情報をまとめた冊子の発行を行い、市民及び新たに本市に転入された方に対し周知を行うことは、市民が豊かな生活を営む上で必要不可欠なものであると考える。</p> <p>平成22年度より冊子に企業広告の掲載を始め、プロポーザルによって選定された事業者がその広告料収入で製本・配布を行うことにより、それまでの経費約2千万円を削減することができた。現在、費用を要するのは、視覚障がい者向けの音声版と点字版の作成に係る経費(平成28年度決算では25万2千円)のみであり、費用対効果は高いものとする。</p> <p>なお、本事業は隔年実施であるため、平成29年度は不実施。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	広報課	事業名	くらしの友発行事業	事業区分	その他
事務事業番号	00025				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	広報課	事務事業番号	00025
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度発行分においても企業広告の掲載を行い、プロポーザルで選定された事業者が広告料収入により製本・配布を行うことで、事業費負担の軽減を図ることができた。また、視覚障がい者向けに音声版や点字版の作成を行うとともに、音声版についてはテープ及びCD音声版を作成し、より多くの市民に情報を提供できるように努めている。</p> <p>次回は平成30年度に発行を行うが、ページ構成やレイアウトに配慮し、より見やすい紙面づくりに取り組んでいく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)